

昨日午前中まで続いた風雪から一転、今日は快晴が広がりボストンに来てから一番暖かい一日となりました。昨日不意に訪れた休日を、生徒たちは体を休めたり、ホストファミリーに料理を振舞ったりとそれぞれ有意義に過ごしたようです。しかしながら、ただでさえ短い学校生活が1日減ってしまったと言う残念な思いも大いに感じられました。昨日のもどかしい気持ちをエネルギーに変え、熱い思いを持って最後の1日を迎えました。

今朝は、3日間でしたがお世話になった先生、出会った友達に感謝の気持ちやお別れの言葉を伝えるため、メッセージカード作りが行われていました。個人的な手紙やプレゼントの他、生徒全員から先生へのメッセージをまとめたボードを作成し学校スタッフに渡すと、素晴らしい生徒たちだと感激して受け取ってくれました。授業終わりにはクラスメイトと連絡先を交換したり写真を撮ったりと別れを惜しんでいました。短い時間でも一生懸命授業に取り組み、友達との交流を楽しんだ結果です。お昼はFLSが準備してくれたアメリカスタイルの大きなピザを食べ、修了書を受け取りました。実は学校スタッフに褒められたのは、生徒たちの食欲も。初日にもサンドイッチを用意されていましたが、ほぼ完食。他の学校ではたくさん余るそうですが、今日のピザに至ってはすべて食べきると言う食べっぷり。物怖じせず、現地に馴染んでいる証拠だと称賛されました。

最後の学校でのランチの後はMFA(Museum of Fine Arts)を訪れました。3グループに分かれ、それぞれ興味のある展示物を見て回るようになっていたのですが、行く先々で他のグループと遭遇。皆興味のあるものは似ていたようです。ミイラの展示や有名な絵画を事前に調べている生徒もいました。限られた時間でしたが、最後に全グループが買い物をする時間を作っており、再集合の時には皆手にお土産の袋を持っていました。

昨日の休校で残念に感じたのは学校だけではありません。午後のアクティビティとして、日本人起業家の松川原氏の講演が予定されていたのです。しかも今回は自動車産業の未来についてと言うこの研修のための特別講義でした。休校と決まった際に講演はどうなるのか?と心配する生徒もいました。来週の企業訪問にも繋がる大切な講演です。時間は若干短くはなりましたが、MFAの後に学校に戻り、講演の時間を設けました。生徒たちは事前に渡されていた自動車産業の未来についての資料を読んで臨みました。人工知能の発達、Uber(自動車配車サービス)の使用拡大など自動車産業の今後の不安要素を挙げられ、スバル訪問の際には是非質問すべき内容についても触れて頂きました。また、ご自身の経験から、自分の人生を生きる上で他人の評価ではなく自分で自分を認めることが大切、何事も自分軸で考えなければならないと言うメッセージには真剣な表情で聞き入っていました。この研修では、出会う全ての方々から影響を与られています。本日提出してもらった2日分の日記には、MIT、ハーバード大学で出会った王兄弟の事が多くしたためられていました。学ぶことを楽しんでいる2人を目の当たりにし、大学に入ることを目標にするのではなく、そこで何をしたいか、その先どうなっていきたいかを考えなければならないと気付いたこと、勉強することについての考え方が変わったなど大きな刺激を得たことが分かります。アメリカの大学を目指したいという生徒もおり、今後の進路や将来を見つめ直すきっかけとなったようです。本日の松川原氏の話にも大きな影響を受け、講演終了後も帰る間際まで質問をしている姿がありました。

明日は班別自由行動の1日となり、それぞれのグループで計画を立てたスケジュールで過ごします。すでに地下鉄の移動にも慣れ、朝も集合時間に遅れることなく集まることができている皆さんですが、今一度気を

引き締めてボストンでの最後の一日を満喫してほしいと思います。



Thank you カード作成中
ント



先生へメッセージボードをプレゼン



修了書授与



MFA (Museum of Fine Arts)で



松川原氏の講演
ち

終了後も話をしに集まる生徒た